小学校 × 音楽・図画工作

音楽・図画工作どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 5項目　解説PDF 2件



10秒でいうと

音楽は「歌唱」と「器楽」を「歌唱・器楽」に統合。図工は発想から表すまでを思考・判断・表現に

小学校の音楽と図画工作では、「思いをもつこと」と「体を使って表すこと」を一続きでとらえる方向です。音楽は、表現の区分を「歌唱・器楽」と「音楽づくり」の2つに整理する案です。図画工作は、発想から工夫して表すまでの全体を「思考・判断・表現」として示す方向です。評価は、題材ごとに全観点を記録しなくてよいことが示されています。

どこが変わる？現行⇔次期（小学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

小学校音楽の表現の区分

現行

「歌唱」「器楽」「音楽づくり」の3つに分かれ、歌唱と器楽で別々に事項が示されている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**歌唱・器楽**」と「音楽づくり」の2つに整理し、歌唱と器楽に共通する事項は**まとめて示す**。

P215　P216　P219　※現行の構成（第5学年及び第6学年の例）は資料編m3 P74

図画工作・美術・工芸の「思考・判断・表現」と「技能」の線引き

現行

発想や構想をする段階は「思考・判断・表現」、材料や用具を使い工夫して表す段階は「技能」と位置付けている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

発想や構想をし、**工夫して表現するまで**のつながり**全体**を「思考・判断・表現」として示す。

P212 P214

小学校音楽の具体的な記述（調性など）

現行

第5・6学年の歌唱・器楽の技能に「ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして」歌う・演奏する、と具体的に示している。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「ハ長調・イ短調」のような具体性の高い記述は、**内容の取扱いへの移行**を検討する。

P216 P219 ※現行の記述は資料編m3 P74

書道の指導事項の示し方

現行

漢字仮名交じりの書・漢字の書・仮名の書と鑑賞のそれぞれの事項で、字形や全体の構成などを具体的に示している。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

〔共通事項〕で「**書を構成する要素**などの働き・関係」として整理し、学校の実態に応じて柔軟に指導できるようにする。

P219

学習評価（総括のしかた）

現行

短い題材でも3観点すべてを
評価しようとして記録に
残す評価だけになったり、
完成作品だけで技能や思考・判断・
表現を評価したりする実態がある。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

複数の題材・単元・区分で**まとめて総括的評価**をしてもよい。
形成的評価を重視し、思考・判断・
表現は**学習の過程**の中の
姿でとらえる。

P221 ※現行側は本文の「現状の課題」として書かれている実態

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの小学校の音楽・図画工作の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **音楽編**
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編

PDF **図画工作編**
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編

学習指導要領の本文

PDF **小学校学習指導要領（平成29年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

音楽・図画工作の変更点（くわしく） | 新旧比較（全校種） | 小学校の先生へ
資料室（小学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。